

# メデルホームつうしん

2023 年秋号

## これからも元気に楽しく

《物価高：建築資材の高騰》

2021年頃の「ウッドショック」を始め建築資材が高騰し続けています。2022年にはロシアとウクライナの関係悪化も要因に影響し、2023年には資材だけではなく、電気・石油等の高騰により、生産過程における電気代が上がり価格へ転嫁をせざる負えない状況になっています。このように仕入れ原価の値上がりからお客様への提供価格も当然増額となります。又、職人の高齢化により退職者が増え人材不足を招いています。高額な給与による職人の引き抜き：多額の採用コストが発生しています。今後も続く課題ですが社員一同（時にはお客様の知恵を借り）切磋琢磨し、乗り越えなければなりません。このように値上がりの原因は原価に含まれるエネルギーや人権費の高騰が挙げられます。生活者の立場からは「少しでも安く・・・」との心情は当然なのかも知れません。昨年の「つうしん秋号《社長のつぶやき》」に掲載しましたが私の経営方針に変わりはありません「お客様との信頼関係を大切に、速やかに、より良い提案を提供し注文を頂く」ことを基本とし、経営努力を怠らず進んでいきます。

朝夕に涼しい季節となりましたが、  
体調を崩さぬよう今年も乗り越えましょう!!

メデル蝦名建業株式会社  
代表取締役 蝦名大典



<祈りの島を旅して>

5月五島列島（福江島・久賀島・奈良島・若松島・中通島）を旅しました。長崎港からジェットフォイルに乗船し福江島に・・・最初に目にしたのは「潜伏キリシタンの島」という看板でした。「かくれキリシタン」ではなく「潜伏??？」その意味するものという疑問でした。

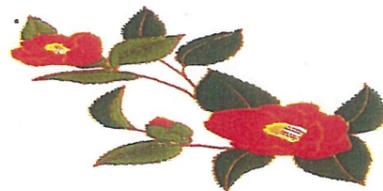
1596年豊臣秀吉のキリシタン捕縛令が出され、260年にわたる禁教弾圧の日々がはじまりました。公に信仰を表現できなかった信徒たちは、表向きには仏教徒を装いながら、内密裏にはキリスト教信仰を守り続けていた。その信徒を「潜伏（偽装）キリシタン」と呼び「元帳（かくれキリシタン）」は隠れながら偽装をせずに信仰を続けたため多大な弾圧を受け続けた。

1868年10月～1869年9月5日牢内の窄での弾圧により42名が殉教した。42名の中には1歳～10歳の子供が19名も含まれていた。自分の意志を持たず親の信仰により尊い命を落としていった子供達、なんとも複雑な思いがした。

1873年信仰の自由が認められ再び宣教師の指導下にはいり、多くの教会・天主堂が建てられ今日に至っている。一方で遣唐使が滞在し唐の文化に触れた素敵な島でもある。

そんなつらい歴史を椿の花はそっと見守ってきたのだろう・・・

改めて信仰とは何か？考えさせられる旅となりました。



蝦名ゆきこ

暖かさ本物、手づくりの家。



マンションリノベーション工事のご紹介

この度「一級建築士事務所 GLA（設計監理）」様とのご縁からマンションリノベーション工事をご紹介します

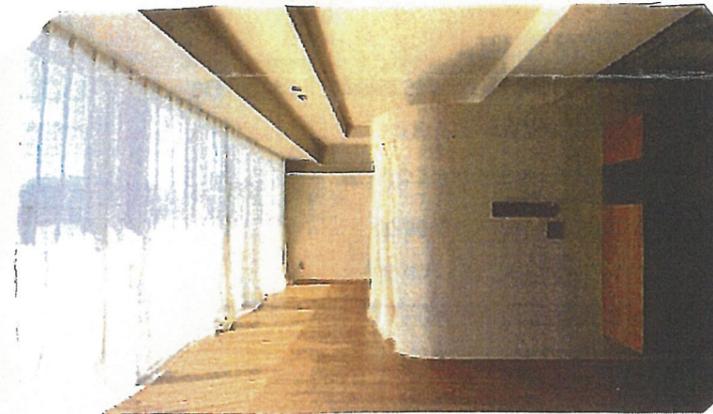
会社情報はこちらから

「一級建築士事務所 GLA（設計監理）」



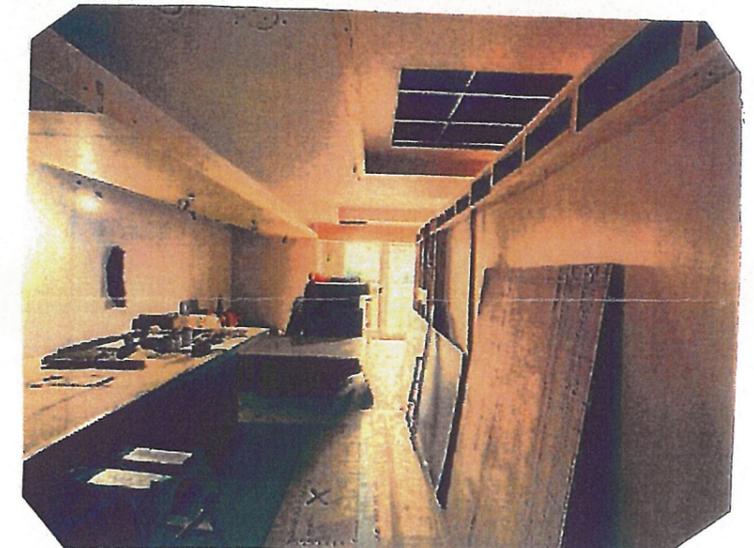
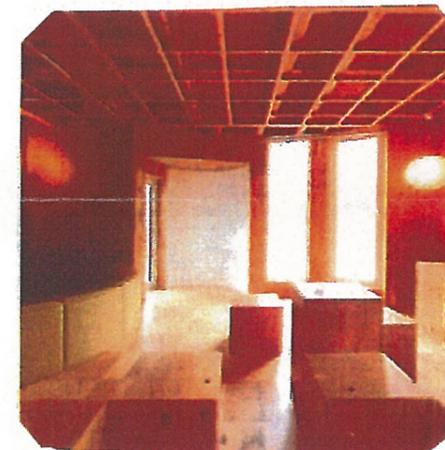
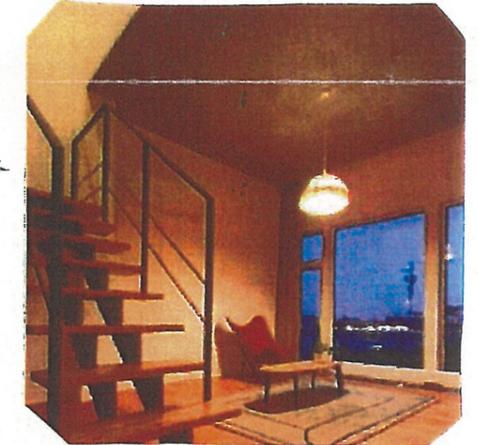
山の稜線を楽しみながら、

単調な空間をやや複雑さをまといながら豊かな空間に・・・



造作家具により空間が引き締まり

既存と新設の駆け引きが魅力的に・・・



当社ホームページ、Instagram  
もご覧になって下さい

ホームページ



Instagram

